

少人数・小中一貫教育を生かした むし歯・歯肉炎の予防と改善

福島県 檜枝岐村立檜枝岐小学校

本校は、福島県の西南端に位置し、平成24年4月に会津・南会津地区初の施設一体型小中一貫校としてスタートしました。15歳で高校進学のために生まれ育った村を離れる生徒が多いため、「15の春を見据えた自己マネジメント力の育成」を図る教育を推進しています。以下、令和3年度の主な取組をまとめました。

【①学級活動での歯科指導】



小学 1.2 年生・・・本事業の予算で購入した歯型模型を用いて、正しいブラッシング方法を学習しました。

小学 3.4 年生・・・むし歯の原因、むし歯が全身病に繋がることを学習しました。

小学 5.6 年生・・・歯肉炎や歯周病が全身病に繋がることやフロス（本事業の予算で購入）の使い方について学習しました。

【②児童生徒による委員会活動】



小学生と中学生が合同で委員会活動を行っています。朝の時間に週の健康に関する目標を放送したり、給食の時間に健康に関する豆知識を発表したりしました。また、本事業の予算で購入したスピーカーを使って給食時に様々な音楽を流しました。毎月18日は、「いい歯」にちなんで歯に関する音楽を流しています。

【③村職員の歯科衛生士との連携】



本村出身の歯科衛生士に定期的に歯科指導を実施していただいています。就学前の乳幼児の頃から継続して見ていただいているため、児童生徒の実態をよく把握されています。気軽に相談することができるため、歯科指導においてとても心強い存在です。

また、写真の歯形模型は本事業で購入しました。模型にも染め出しをすることができます。児童生徒と一緒に染め出しをして、みがき残しを確認しながら、各自の課題に応じたよりよい歯みがきについて学んでいます。

